

品川支部

令和二年五月一日発行
〒141-0022
品川区東五反田1-8-5
Tel. 3442-7075

5月

天理教品川支部（豊英分教会内） 発行責任者 栗原薫 編集 支部編集部

今こそ 感謝・慎み たすけあい

世界中、経験のない病禍で疲弊してイライラもつります。出かけられないとか、何かにつけてストレスも日に増しています。神様は一体何を考えてらっしゃるのかなど思ったりもしますね。こういった時こそ信仰の出番です。何を教えられているかといえれば、苦しいつらい中どう陽気ぐらしが出来るかで、互い慎みをもって相手に気持ち良い言葉で接し、小さいことでも有難いと感謝の心を増やす。この心ひとつと言われる行いで近づくことができるのかと思います。周りを和ますことは、「人助けて我身助かる」を実感させて貰えまじう。支部では、それでも尚お困りの方に少しでもお役に立てるよう考えておりますので編集部までご相談ください、出来ることもあります。お互いたすけあいでこの時節を明るく乗り切りまじう。



本部月次祭は つとめ人衆のみでつとめられました

☆支部行事のお知らせ

・五月は水豊田分教会でのおつとめ総会を予定していましたが中止となりました

・神名流し

・在宅センターひのきしん

いづれも
中止

・教区ひのきしん

・幹事会

九日、開催の有無は五日に連絡致します

☆教務支庁からのお知らせ

・本部月次祭

三月の月次祭は、全国から又海外からも参加者が多数訪れることから、当局の要請もあり、つとめ人衆、直属教会長、教区長で勤められ、参加者は敷地内には入れませんでした。四月は更に、つとめ人衆でのお勤めと言うことでした

・本部から

四月から始まる修養科、講習、検定講習等が中止されています。七月二十六日からのこともおちば帰り行事も中止のお知らせがありました

・天理教校学園高校、最後の入学式

昨今の少子化等、諸事情で生徒の募集を今年で終了することになり、最後の新生が入学されました。平成十七年に天理教校親里高等学校と統合し天理教校学園高等学校としマーチングバンド・雅楽等、数多くの実績を上げていた同校の最後の入学式も今回の病禍の影響を受けながら、入学早々、待機という異例な形でスタート致しました。この特別な新生入生に皆さんでエールを送りましょう。

・各教会長へ業務連絡

例年六月九日に都庁提出書類の『業務指導』が行われておりますが、今年はこの状況で中止されます。都に提出する期日は変わり有りませんので、書類を組長教会へ預けるか教務担当の神品川分教会浅田先生に郵送して頂きます。提出書類は
一、都庁提出の鏡(原本)
二、代表役員名簿(写し)
三、責任役員名簿(写し)
四、財産目録(写し)
五、決算書(写し)
写しはA3又はA4二枚でも可
期日は組長経由は六月九日午前中
郵送の場合は六月三十日までに着宜しく致します

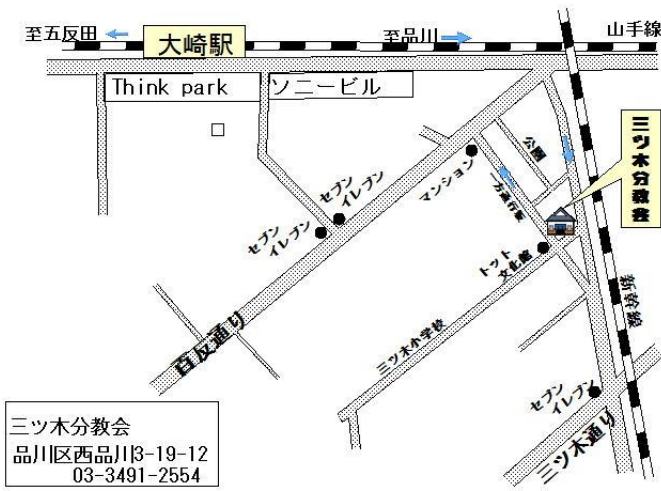
拠点教会	3日号	10日号	17・24日 合併号
日本橋	直送	直送	直送
本荏	直送	直送	直送
都南	直送	直送	直送
三ツ木	直送	直送	直送
水豊田	直送	直送	直送

時報手配り五月予定

当面ウィルスでひのきしん者の安全を計り直送のみで手配りでの配信はありません

お勤め総会五月 中止になりました

神殿新築紹介 三ツ木分教会



約一年掛けての神殿普請
六月はお披露目を兼ねて新
築の三ツ木分教会さんでの
例会を予定しています

最近思うこと

都南分教会長



...

最近、我が大教会では「魅力ある人、魅力ある教会」を目指しましょう！とよく伺います。「魅力ある人、教会」とは一体どんな人でありましょうかと考えました。「魅力」という言葉を敢えて辞書で調べてみました。魅力とは「人の心をここによく引き付ける力」とありましたが、そう考えますと人の心を引き付けて、寄り集まってもらえる、暖かい、優しい、それでいて夢や希望、目的を持ち、自らもその雰囲気をもし出して欲しいような人のことをいう事でしょうか？なかなか難しいですね。私には程遠いような気がします。

最近、私事ですが、ご本部詰員のご用を仰せつかりました。(ご本部の神殿で教服を着て結果内で座っている人)未だ三回くらいしか勤めていませんが、ご存知の通りお勤めの神殿は夜中を通して開いておりますので、我々も二十四時間の勤務であります特にこの冬の時期は、極寒で身の縮む思いで着座奉仕をしております。二十四時間ですから、夜中の十二時・一時・二時：での奉仕は特に寒いのですが、それでも参拝に来る人はポツポツですが絶えません。こんな時間に来られる人は、大抵おたすけの祈願に来る人たちです。回廊掃除をし、寒風吹き荒ぶあの広い神殿に額ずき、一端拝をしたら中々額を上げません。そして、おもむろに頭を上げたかと思うと、今度はゆっくり丁寧に目を閉じたまま「あしきをはらうて」と大きな声で、真剣なお願いとめが始まります。その声があの広い神殿にこだまします。着座をしているとその声から聴こえて来るかのようです。

我々奉仕者は、寒い中座ってはいませんが、座布団に座り、教服の中は厚着をしておりますので、まだましですが、お願いとめに来る方は、あの冷たい畳直にハッピという軽装でのお願いとめです。さぞお寒いことと思います。その声を聴いているうちに身体は寒いのですが、心は温かくなってきました。そして、お願いしている人が誰か、何を願っているのかも知りませんが、知らず知らずのうちに涙が込み上げてくるのです。人にたすかって貰いたいという、誠実の人こそ、「人の心」魅力ある人」というのだとつくづく感じます。魅力ある人とは、大きな家に住んでいるお金持ちや地位のある人、高学歴の人では決してありません。神様の目から見たら、教服を着て結果内で座っている人よりも、この一布教師さん(青年さん)の方がよっぽど誠実、魅力のある人と映っていることであるかもしれません。暖かく、優しく、それでいて信念を持ち、人のたすかりを願う誠実の心を持ちたいものです。

持ちたいものですね。又最近思うことの一つに、新型コロナウイルスによる感染が広まっています。各所でイベントが中止され、経済も元気がなくなっています。人が暗くなりがちで、満員電車の中で咳をしただけで喧嘩になることもあります。病気や嫌な事だけを注視するのではなく、自分の周りに溢れている素晴らしいことに目を向けましょう。当たり前前に生活できることに感謝しましょう。自分の気持ちを明るくすると同時に誰か一人でも周りの人の気持ちを明るくしてあげて下さい。人を誹謗中傷するのは止めて明るい思いやりの気持ちで、社会の混乱も感染症も収束していくのではないのでしょうか。暖かく、優しく、それでいて信念を持ち、人のたすかりを願う誠実の心を持ちたいものです。